



市政 PICK-UP

音楽を通じて友情を育む

2月25日、シンフォニア岩国で「IWAKUNI日米交流合同コンサート」が開催されました。この催しは、市内や周辺の小・中学校の児童生徒と米海兵隊岩国航空基地内の児童生徒が、一緒にコンサートをを行うことで交流を深めることを目的としており、7回目の開催となります。市内からは麻里布小学校の児童37人が出演しました。学校ごとのステージでは、息の合った合唱や演奏を見せたほか、ダンスを取り入れたり衣装

IWAKUNI 日米交流合同コンサート

に工夫を凝らしたりするなど、それぞれの特色あるパフォーマンスを繰り広げました。この日のために一緒に練習を重ねてきた日米合同のパフォーマン스가披露されると、会場からはひときわ大きな拍手が送られました。ステージを終えた児童生徒からは「楽しかった」「日本のことをもっと知りたい」「英語を勉強してもっと仲良くなりましたい」などの声が聞かれました。 圓基地政策課 ☎295024 学校教育課 ☎295204



開演前には、協力しながら錦帯橋模型の組み立て体験を行った



みんなで見守り支え合う

2月14日、ハーモニーみわで岩国市認知症の人の見守り支援協議会の活動発表会が開催されました。

現在、65歳以上の7人に1人が認知症ともいわれており、地域の人や団体、企業などで構成する協議会が、認知症に対する理解を深めてもらいたいと毎年開催しているものです。

発表会では、認知症の妻を実際に介護してきた人の体験や思い、企業が行っている見守り活



▲妻を約7年間自宅で介護した体験を、白井弘さん(右)が発表した

認知症の人の見守り支援協議会 活動発表会

動、介護事業者が認知症の人の介護をする上で大切にしていることなどが発表されました。

このほか、認知症予防につながる脳を活性化させるゲームや認知症の人への接し方を題材にした寸劇が行われました。寸劇では、認知症になった家族への戸惑いや悩みをよくある日常の風景で描き、地域や家族で見守り支え合う大切さを訴えました。

☎ 2566
岡地域包括ケア推進課



▲寸劇では笑いを交えながら認知症の人への接し方を分かりやすく来場者に伝えた



▲東中学校2年生の河本朋乃さんが発表した「私の家族と将来の夢」が最優秀賞に選ばれた

自分を見つめ直す機会を

2月18日、シンフォニア岩国で立志の日作文発表大会が行われました。

毎年、市内の中学2年生を対象に立志に関する作文を募集しており、今年は、市内の全16中学校から1177点の応募がありました。この日は、その中から選ばれた8人の優秀賞受賞者が発表を行いました。

壇上上がった8人は、真つすぐに前を向き、力強い言葉で、それぞれの志を発表しました。憧れの職業への思いや夢をかな

「立志の日」作文発表大会

えるための強い決意が述べられた一方、将来の道についての迷いや悩みが吐露されるなど、等身大の14歳の姿が語られ、若者の精いっぱい発表に、会場から大きな拍手が送られました。

立志の日作文募集は、青少年健全育成の一環として、立志の日を迎える中学2年生に、現在の自分と向き合い将来について考える機会をつくることを目的としており、今年で47回目の実施となります。

岡青少年課 ☎ 0901



▲優秀賞を受賞した8人が、それぞれの気持ちを一生懸命に発表した